



# CSR REPORT

## 第86期

(2022.10月~2023.9月)

北酸株式会社 CSR報告書

# CONTENTS

## 02 会社概要

## 03 社長メッセージ

## 04 トピックス

## 05 財務ハイライト

## 06 重要課題

中長期経営計画 フェーズ2方針

## 07 環境パフォーマンス

サプライチェーン排出量 2022年9月期、2023年9月期比較表



## 08 健康と安全のパフォーマンス

保安体制について  
安全環境整備  
労災件数



## 11 労働・人権・人事のパフォーマンス

DX推進  
福利厚生の充実  
社員研修の充実  
資格取得を奨励  
職場環境改善の取り組み  
内部通報制度（社内・社外）  
有給休暇消化日数



## 16 倫理的パフォーマンス

コンプライアンス活動・教育



## 18 リスクマネジメント

リスク分析結果



## 19 地域貢献への取り組み

一般社団法人富山水素エネルギー促進協議会の取り組み  
社外保安講習  
防災訓練  
スポーツ・音楽支援活動  
拠点の地域貢献活動



## 22 事業所一覧

# Company profile 会社概要

(2024年4月1日現在)

設立 1937年10月2日

商号 北酸株式会社

所在地 〒930-0029 富山県富山市本町11番5号

電話番号 076-441-2461 (代表) がけん

ダイヤル1: LPガス ダイヤル2: 医療・福祉用具 ダイヤル3: 産業ガス ダイヤル4: 総務・その他

FAX番号 076-441-2358

役員	代表取締役社長	山口 昌広
	取締役専務執行役員 管理本部長	宮下 裕司
	取締役常務執行役員	山口 正蔵
	取締役常務執行役員 産業ガス事業部長	高木 稔
	取締役常務執行役員 産業資材事業部長	山森 誠治
	監査役	山口 美子
	監査役	石崎 大善

従業員 北酸グループ 292名

資本金 47,000,000円

売上 174億円(2023年9月期決算)

事業内容 高圧ガス販売事業  
医薬品販売事業  
液化石油ガス販売事業  
一般建設業  
毒物劇物一般販売事業  
介護保険法による福祉用具販売貸与事業  
新電力取次販売事業

事業所 本社・産業資材事業部  
総合ガスセンター  
高岡支店  
魚津支店  
東京支店・化成品事業部  
大阪営業所  
上越営業所

関連会社 北酸高圧瓦斯株式会社  
北酸物流株式会社  
山口郵便送株式会社  
株式会社北酸リプロ  
BANホールディングス株式会社  
富山映画興業株式会社  
ラ・ロカンダ・デル・ピットーレ環水公園



本社



総合ガスセンター

## Top Message 社長メッセージ

常にお客様第一主義で営業活動を展開し、  
産業から暮らしにいたるまで、  
時代が求める商品とサービスを提供してまいります。



代表取締役社長

山口昌広

### はじめに

当社は昭和12年（1937年）の設立以来、「喜んでもらいましょう」の経営理念のもと、常にお客様第一主義で営業活動を展開し、産業から暮らしにいたるまで、その時代が求める商品とサービスを提供してまいりました。産業ガス、LPガスの販売からスタートし、今日では従来の事業部門に加え、水素や木質バイオマス、そして農業など、地域に根ざした地産地消システムの構築を進めております。

昭和から平成を経て、令和の時代に入りました。これからも地域に密着したエネルギー商社として常に時代を先取りし、お客様の多様なニーズにお応えすることによって北酸としての新たな価値と可能性を創造してまいります。

皆さまには今後とも引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 環境への取り組みについて

当社はエネルギー商社の役割を担う企業として、2050年に温室効果ガス排出実質ゼロをめざす「環境ビジョン2050」のもと、2030年までに、2021年を基準として42%削減を目標としております。温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みは、当社における最優先課題の一つと考えます。

### CSR活動の充実に向けて

コンプライアンスを遵守しつつ地域・取引先の皆様に対して貢献させていただく事が当社の責任と考えます。また従業員が安心して働き、成長できる環境を創り出す為にも全社員で『合理化』を考え、そして実施致します。

## Topics トピックス

# EcoVadis社のサステナビリティ評価で「シルバー」評価を獲得

### CSRへの取り組み

当社は、EcoVadis（エコバディス）社（本社：フランス）のサステナブル評価において、59点「シルバー」評価を受けました。「シルバー」は、対象企業の内、スコアが上位25%の企業に与えられる評価です。

社会活動への取り組みが活発になり、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）活動への関心が高まっています。お取引先様からの要請を受けて、2023年4月「北酸CSR方針」を策定しました。本方針に基づき、地域社会活動・環境保全活動への積極的な取り組み、コンプライアンス対策の強化を図っていきます。得られる成果としては、事業機会の拡大、社会的意義がある企業との認知、採用活動にも貢献するものと考えています。

#### 【取り組みの内容】

- 2023年 1月 役員会定例会 CSR取り組みキックオフ、CSR推進グループ発足
- 4月 北酸CSR方針・行動規範の策定、公表
- 5月 CSR報告書ワーキンググループ発足
- 6月 関連規定の見直し、CSR教育
- 7月 CSR報告書公表、内部通報制度スタート、BCP対策立案、情報セキュリティ訓練
- 8月 サプライヤー50社へのCSRアンケート、新規サプライヤーのCSRアンケート義務化  
エコバディス評価スタート
- 10月 「シルバー」評価通知

今回の取り組みには、大きな目標がありました。持続可能なサプライチェーン（SC）の実現を目指す化学業界のイニシアチブであるTogether for Sustainability（TfS）のメンバー要件のエコバディスで45点を取得することでした。TfSはSCのESG評価を手掛けるエコバディスとタイアップし、加盟企業はそのプログラムを用いて自社サプライヤーを評価し、評価情報は組織内で共有化され、化学産業全体のサステナビリティの向上を図ることが狙いです。

評価方法は、業種・企業規模・国に合わせカスタマイズされた質問票により、130,000以上の評価実績をベースとし、企業のCSR活動を環境・労働と人権・倫理・持続可能な資材調達で包括的に評価されます。当社は、環境・労働と人権・持続可能な資材調達で評価されました。

#### 環境

- Science Based Targets(SBT)イニシアチブを指示し目標が設定されていること。
- カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）へも報告していること。
- 保安教育が充実していること。

#### 労働と人権

- 職場におけるストレス・精神的健康への対処方法を講じていること。
- ハラスメント対策や家族向けのプログラムが充実していること。

#### 持続可能な資材調達

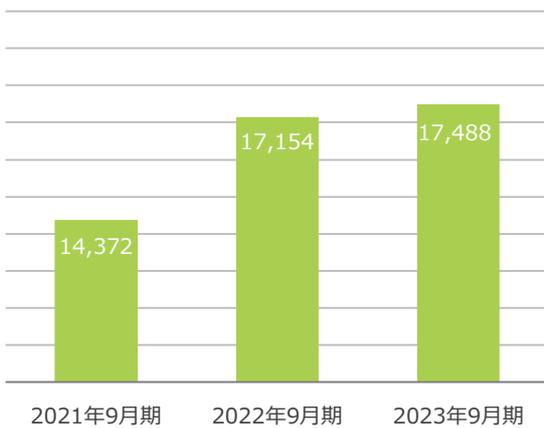
- 環境または社会的慣行に関するサプライヤー評価を行っていること。

CDP・SBTi・CSR・SDGsへ積極的に取り組むことで、企業価値を最大化することを目指していきます。

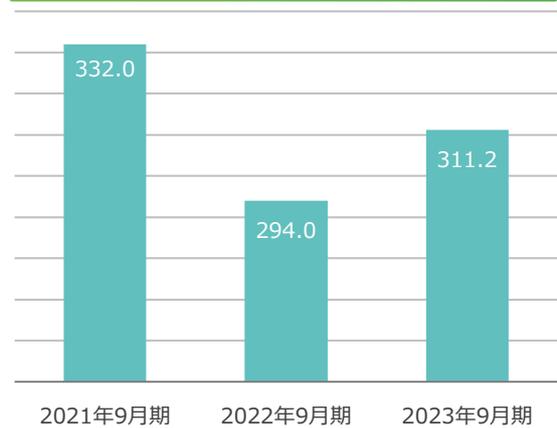
## Financial Highlights 財務ハイライト

地域に密着したエネルギー商社として、お客様の多様なニーズにお応えするため、常に健全経営に努めております。

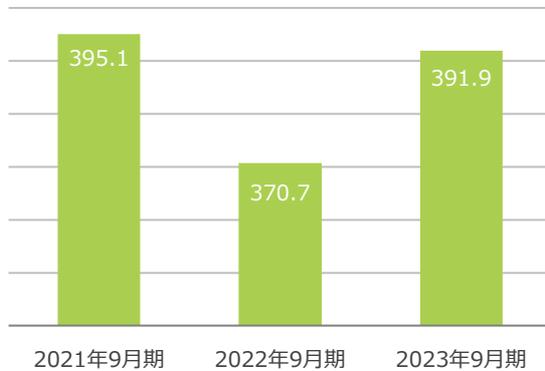
### 売上高 (単位: 百万円)



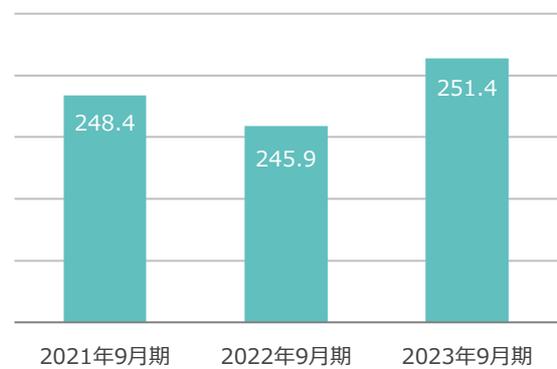
### 営業利益 (単位: 百万円)



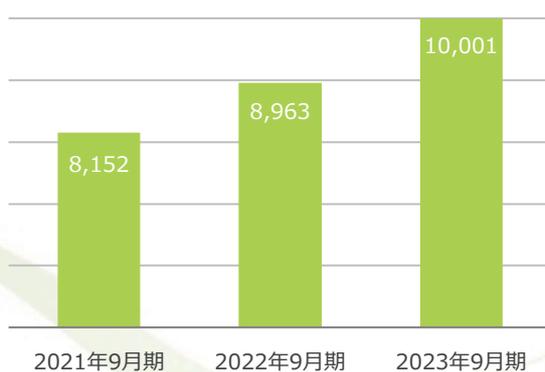
### 経常利益 (単位: 百万円)



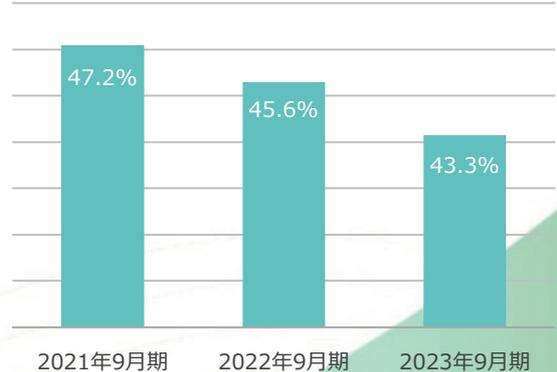
### 当期純利益 (単位: 百万円)



### 総資産 (単位: 百万円)



### 自己資本比率



## 重要課題

### 中長期経営計画 フェーズ2方針

#### 1 長期経営ビジョン達成に向けた各事業戦略の推進

- ① 各事業領域の基幹事業の収益力強化
- ② 新たな事業創出に向けた具体策の推進

#### 2 長期経営ビジョン達成に向けた 全社共通課題への取り組み

##### 中長期経営計画 全社共通課題

施策名	定義	目的
<p><b>DX推進</b></p> 	<p>最新のデジタル技術を駆使した、想定される諸問題対応のための変革。</p>	<p><b>事業価値・人財価値の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 業務効率化・生産性向上（社内）</li> <li>② 新商品、サービス開発（社外）</li> </ul>
<p><b>脱炭素事業推進</b></p> 	<p>化石燃料の急減速に伴う代替サービスの創出。 樹脂等代替可能なものは、環境価値取引により代替。</p>	<p><b>事業価値・社会価値の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 既存事業の脱炭素社会対応</li> <li>② 脱炭素社会への貢献</li> </ul>
<p><b>SDGs推進</b></p> 	<p>2030年までに全世界で達成する17の目標と、当社の関連性を整理。 関係の有無、達成のための取り組み。</p>	<p><b>企業価値の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 既存事業のポジション把握</li> <li>② 事業の将来展望予測、ベクトル形成</li> <li>③ 社員の気づきを促す</li> </ul>
<p><b>新規事業創出推進</b></p> 	<p>各事業部単独、または社内連携、外部事業者連携による新事業開発。 既存事業の強みを独自価値に昇華させる施策。</p>	<p><b>独自価値（武器）の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業アイデアの発掘、事業化検討</li> <li>② 事業価値、競争力、収益性向上</li> </ul>



## 環境パフォーマンス

二酸化炭素排出削減への取り組みとして、当社におけるサプライチェーン排出量を策定いたしました。事業活動で使用するエネルギー、製品の供給、お客さま先などで発生する温室効果ガス排出量を把握し、二酸化炭素削減へ努めてまいります。

### サプライチェーン排出量 2022年9月期、2023年9月期比較表

スコープ	概要	2022年9月期排出量 [t-CO2]	2023年9月期排出量 [t-CO2]
Scope 1	燃焼によって直接的に排出される温室効果ガスの量	424.7	424.2
Scope 2	供給される電気の使用に伴って排出される温室効果ガス	170.2	155.1
Scope 3			
カテゴリー1	購入した製品・サービス	58,810.0	58,822.0
カテゴリー2	資本財	1.3	1.4
カテゴリー3	SCOPE1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	48,441.0	50,979.0
カテゴリー4	輸送、配送(上流)	506.3	599.9
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	2.7	3.0
カテゴリー6	出張	19.9	22.6
カテゴリー7	雇用者の通勤	80.2	83.6
カテゴリー8	リース資産(上流)	対象外	対象外
カテゴリー9	輸送、配送(下流)	対象外	対象外
カテゴリー10	販売した製品の加工	対象外	対象外
カテゴリー11	販売した製品の使用	対象外	対象外
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	対象外	対象外
カテゴリー13	リース資産(下流)	該当なし	該当なし
カテゴリー14	フランチャイズ	該当なし	該当なし
カテゴリー15	投資	該当なし	該当なし
合計		108,456.3	111,090.8

- ・温室効果ガス排出量の算出について：電力関係のCO2排出量算出時の排出係数は、日本の環境省・経済産業省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電力事業者別の調整後排出係数を使用しています。
- ・基準年である2021年9月期のScope1+2の排出量に対して、2030年9月期までにパリ協定1.5℃目標と同水準の42%削減を目標として二酸化炭素削減に努めてまいります。
- ・2023年9月期は低排出車両への入れ替え、低排出設備機器の計画的な導入によりScope1、2は僅かではありますが減少傾向となっています。しかし、市場動向が活発になったことを受けScope3が増加しています。



# 健康と安全のパフォーマンス

当社は、高圧ガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

## 保安体制について

北酸グループの安全キーワードである「安全へ 高い意識と 確かな知識」を具現化するため、さまざまな活動を行っています。

### 北酸グループ合同保安会議

当社とグループ会社の経営者層で構成されている北酸グループ合同保安会議を定期的で開催しています。2023年9月期は4月20日に実施しました。

同会議では事故事例や各社の保安活動状況といった保安情報の共有化を図るとともに、保安に対するベクトル合わせを行っています。また、グループ全体の1年間の保安活動計画を策定しています。

保安査察では他事業所の法定選任者（販売主任者、業務主任者等）が査察員として参加しています。同じ立場の法定選任者が他事業所の保安査察に参加することにより、お互いを刺激しあうとともに好事例の水平展開や資質向上の機会としています。

実施結果は年度単位で集計・分析し、合同保安会議で報告すると同時に、次年度の保安査察重要項目の策定に活かしています。

2023年度 保安活動計画表 項目・担当部 備考等記載  
2023年 4月 1日付現在

No.	名称	分類		対象先	実施予定月												
		会議	教育		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	北酸グループ合同保安会議	○		全社	●												
2	保安査察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	品質監査	○		○													
4	高圧ガス配送車両同乗監査	○		○													
5	高圧ガス配送車両点検	○	○	○													
6	高圧ガス配送員保安教育	○	○	○													
7	保安教育	○															
8	高圧ガス移動力点検	○	○														
9	事故事例研修の会	○	○	○													

### 高圧ガス配送車両同乗監査

監査員が高圧ガス配送車両に同乗し、専用のチェックリストを用いて移動の基準（高圧ガス保安法）および容器交換時等供給設備点検（液化石油ガス法）の順守状況の監査をしています。あわせて安全運転やお客さまへの対応マナーの指導も行っています。一人作業のため、個人差が生まれる配送業務の標準化を図っています。

### 保安査察

北酸及びグループ会社の計11事業所を対象にした保安査察を実施しています。保安査察では高圧ガス保安法および液化石油ガス法を中心とした高圧ガス関連法規の順守状況を確認しています。



### 宿直体制

総合ガスセンターでは宿直専従者による宿直体制を敷いており、24時間365日緊急時に備えています。主にLPガス消費者様からの「火が着かない」「ガス臭い」といった要請連絡に基づき出動しています。

### 日直体制

総合ガスセンターでは土日祝祭日の日中において日直体制を敷いています。病院向けの医療用酸素の配送やLPガス消費者様からの緊急時対応等、安心・安全・安定に取り組んでいます。



## 健康と安全のパフォーマンス

### 保安教育

一般的に危険なモノと認知されている高圧ガスを取り扱う当社にとっては、社員の資質向上に向けた保安教育は必要不可欠です。高圧ガス関連事業所ごとに年度計画を策定し、各々6回/年実施しています。また、社内保安部門による保安教育も実施しています。

保安教育では実習型の講習や事象事例のグループワーキング等、受講者自らが体験し、考え、発表する機会を設けています。



また、知識・経験の浅い新入社員には独自カリキュラムにより底上げを図っています。



### 高圧ガス消費先点検

取引開始時および2年に1回の頻度で高圧ガス消費事業者様の設備点検を行っています。高圧ガス保安法の技術上の基準に基づき、高圧ガス容器の保管状況やガス設備の異常の有無を確認しています。

点検にあわせて高圧ガス容器の所在確認も同時に行い、長期間貸し出ししている容器に

についてはお客様に説明の上、回収に努めています。

今回より点検はタブレット型端末を用いて実施し、点検結果のデータ管理を進めています。



### L Pガス流出防止対策

近年、台風・洪水・地震等の自然災害が多発しています。消費先に設置しているL Pガス容器の安全対策（流出防止、転倒防止）としてチェーンもしくはベルトによる二重掛け固定を進めています。





# 健康と安全のパフォーマンス

## 安全環境整備

熱中症対策と、夏場の作業効率を高めるために、社員とグループ会社に対して空調服の支給を開始しました。2023年9月時点で82着を支給しました。空調服は腰の位置に小型ファンがある長袖の服で衣服内に風を流すことで汗を気化させて体を冷ます効果があります。

さらに、事務所内での業務中の暑さ対策として、ポロシャツの支給を開始しました。2024年からは長袖ポロシャツ導入を目指し、準備を進めています。

地震対策や職場環境改善のため、老朽化した建物の改修工事を実施しています。築50年を超えた建物については建て替え工事を検討していきます。2024年12月には総合ガスセンター増築工事、2025年4月には高岡支

店の建て替え工事が完了する予定です。

2019年の全車両ドライブレコーダー設置に続き、2021年1月から営業中の交通事故防止を目的として営業車両への衝突被害軽減システム導入をスタートさせました。社用車入替時にシステム装備車を採用しています。2023年9月末時点で53%達成し、2028年4月に全車両の入替が完了します。

当社は従業員の安全・安心・健康が守られる対策を引き続き導入していきます。



### 健康環境整備

- 社員とグループ会社に対して空調服を支給（82着支給／2023年9月時点）
- ポロシャツの支給及び長袖ポロシャツ導入準備

### 安心環境整備

- 老朽化建物の改修工事の実施、築50年超の建物の建て替え工事の検討
- 総合ガスセンター増築工事（2024年12月完了予定）
- 高岡支店の建て替え工事（2025年4月完了予定）

### 安全環境整備

- 営業車への衝突被害軽減システムの導入（53%達成／2023年9月末時点）
- システム装備車への入替（2028年4月完了予定）

## 労災件数

2023年9月期の労災発生は1件でした。過去5年間2018年9月期～2022年9月期の発生件数は1～3件、平均件数1.6件。

2023年9月期に発生した労災1件は、開けていた社用車リア扉に頭をぶつけ側頭部を切ったというものでした。

過去5年の事例は全て軽微なもので、休業に至った事例は1件もありません。とはいえ、不注意が原因で起きており、労災事例があった都度、水平展開と注意喚起を図っていきます。

過去5年間の労災発生件数

86期 (23年9月期)	1件
85期 (22年9月期)	2件
84期 (21年9月期)	3件
83期 (20年9月期)	1件
82期 (19年9月期)	1件



# 労働・人権・人事のパフォーマンス

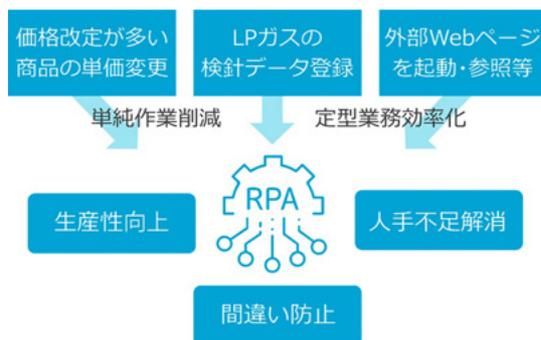
社員及び家族の健康的な生活を確保し、働きがいのある職場環境を目指します。

## DX推進

当社は多岐にわたる業種があり多数の商品を扱っていることから、これまで社内システムにおいては常に全体の最適を追求しながら新規開発・業務改善・BCP対策等を行ってきました。また、2022年9月期には新たにDX推進チームを立ち上げ、さまざまなデジタル技術を活用して会社・社員のDX推進の一助となるよう定期的に活動しています。これまで特に効果がみられた活動は以下の通りです。

### RPAの活用

コンピュータ入力業務のうち、価格改定が多い商品の単価変更やLPガスの検針データ登録において毎月多大な時間と労力を要していました。そこで、2021年9月期よりRPA（ソフトウェアロボットによる業務プロセスの自動化）を導入し、これらを自動化しました。導入後は単純作業の大幅削減による生産性の向上や間違い防止、人手不足の解消に大きな効果を発揮しています。また社内のシステムに入力するために外部のWebページを起動・参照するパターンの仕事が増えてきたことから、これらの定型業務においてもRPAによる自動化を推進しています。



### タブレット向けアプリ開発の推進

社員が行う点検業務において、紙の点検表に手書きで記入する運用を廃止し、自社でプログラム開発したアプリケーションによるタブレット利用を推進しています。主にLPガス・在宅酸素・高圧ガス等の点検業務で利用シーンを増やし、それによって点検後のコンピュータ入力作業の負担軽減・ペーパーレス・間違い防止などの様々な効果が生まれています。

### 電子帳票システムの拡大

1999年に電子帳票システムを導入しました。それ以降請求書においては控えの印刷をやめ、電子保存を行っています。その後も徐々にペーパーレスを拡大し、これまで印刷・配布していた月次帳票を全て電子化することができました。また、2022年9月期には「Web請求システム」を導入し、お客様に送付する請求書の発送作業の軽減や発送に関わるコスト削減ができるよう切替を推進しています。2024年9月期には既に導入していた電子FAXシステムを全社展開し、受信したFAXにおいては紙の印刷の撤廃を目指していきます。

本社実績

2,545枚削減/月間



### 動画マニュアルの活用

技術やノウハウは会社の財産であり、それを継承していくことは事業継続計画のうえで重要と位置付けています。その一つの手段として、2021年9月期より動画マニュアルの活用を推進してきました。現場作業の手順等をビデオカメラで撮影し、動画の編集を行い社内の掲示板にアップロードする。全て自社で制作しているため、構成の作成や動画編集技術向上における人材育成にもつながっています。言葉やテキストだけでは説明しづらい細かい手順や動作を、動画によって視覚的に伝えられるため、社員の業務理解向上の一端となっています。



# 労働・人権・人事のパフォーマンス

## データセンター移転によるBCP強化

2017年9月期～2022年9月期にかけて全てのサーバーをデータセンターに移転し、災害やシステム障害発生時の事業継続性を強化しました。データの安全性を確保し、安定したシステム運用を実現します。

## 経費精算システムの導入

従来の紙ベースの経費精算システムを刷新し、タブレットで手続き可能なシステムを導入しました。これにより、社員はいつでもどこでも簡単に経費精算が可能となり、処理時間も大幅に短縮されました。さらに、電子化によって書類の保管や管理も効率化し、環境負荷の低減にも貢献しています。

## Web会議の活性化

各事業所の会議室にモニター、パソコン、カメラの設置を推進し、Web会議を活発に行える環境を整えました。これにより、場所や時間にとらわれない会議が可能となり、移動時間の削減や参加者の増加を実現しました。また、会議の録画・録音機能も活用し、議事録作成の効率化にも貢献しています。

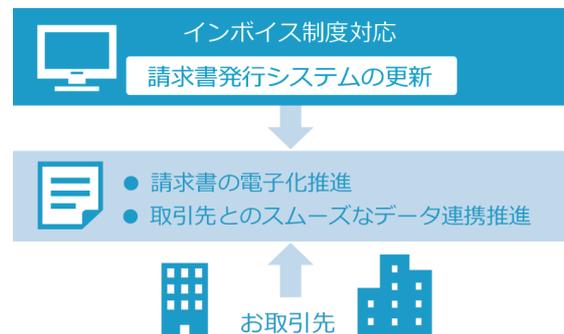
## 公式LINEを開設

お客様とのコミュニケーションを強化するため、会社の公式LINEを開設しました。LINEを通じて、商品やサービスに関する情報提供やキャンペーンのお知らせ、顧客アンケートなどを実施し、お客様との接点を増やすとともに、双方向的なコミュニケーションを実現しています。

## インボイス制度対応

2023年10月から施行されたインボイス制度に対応するため、請求書発行システムを更新しました。これにより、適格請求書発行事

業者としての義務を果たすだけでなく、請求書の電子化が活発となり取引先とのスムーズなデータ連携も増加しました。



## AI契約管理システム導入

2,500部の契約書を電子化し、クラウド上での管理がスタートしました。従来は、EXCEL表の台帳で管理し、契約書の特定に時間がかかっていました。電子化により、契約書の更新期限が自動で計算され、メールで担当者へ連絡が入る仕組みを構築。

関連部署の契約書内容については、多彩な検索が可能となり、適切な契約書管理ができるようになりました。

## 地図クラウドサービス利用開始

工事や設備点検の際、ネット地図やペーパー地図を利用していましたが、最新版の住宅地図データが見えるクラウドサービスを採用しました。検索が容易なほか、重機が通るためのルート選定や工事のお知らせ作成支援、著作権に抵触しないダウンロードと便利機能がたくさんラインナップされており、作業効率の改善につながっています。



# 労働・人権・人事のパフォーマンス

## 福利厚生の充実

### 社員健康管理

コロナ禍中、全社員に定期的に不織布マスクの支給を行いました。また、インフルエンザの集団予防接種を就業時間中に拠点で実施。個人で接種する場合も、一人につき3,000円までの補助を行いました。また、健康診断について2023年9月期から補助を拡大。協会けんぽの生活習慣病予防健診は全て会社負担にて受診できることに加え、50・55・60・65歳の社員を対象に脳ドック・がん検診（脳ドック・腹部エコー・胃カメラ・肺CT・PSA・腫瘍マーカー等）のオプションを会社負担で受診可能とし、PET検診の希望者には検査費用の半額補助を行っています。

**コロナ禍対策**

- 定期的な不織布マスク支給

**インフルエンザ予防**

- 集団予防接種
- 個人接種者への3,000円支給

**健康診断補助の拡大 [2023年9月より]**

- 生活習慣病予防検診全社員負担
- 50・55・60・65歳対象 脳ドック・がん検診負担
- PET検診半額補助

### 給与ベースアップ

物価対策・モチベーションアップを目的として2023年1月全社員一律15,000円のベースアップを実施しました。これに加え、毎年1人あたり平均2%以上の定期昇給を実施します。



ベースアップ 全社員一律  
**15,000円**  
+  
定期昇給  
平均 **2%** 以上/年

### 企業主導型 両親学級への協賛

妊娠4カ月からの妊婦さん、生後1歳くらいまでの赤ちゃんご家族を対象とした、妊娠・出産・育児についての講座を行う両親学級への協賛を行い社員に周知しました。

### 冬季通勤時の高速道路利用可能

積雪時に交通マヒに巻き込まれることを避け、事故防止、社員の負担軽減を図ることを目的に高速道路利用料金の会社負担を開始致しました。

### 社内アンケート活用

年に一度発行する社内報にて、社内アンケートを匿名で実施。社内の人間関係や職場環境について調査を行っています。

### 東急ハーヴェストクラブ飛騨高山の追加

富山からアクセスの良い飛騨高山施設の会員権を購入。宿泊施設をさらに活用しやすくなりました。

### マネーセミナー実施

社外よりマネーアドバイザーを招き、お金に関する基本的な知識を学べる内容のセミナーを複数回開催しました。

### 福利厚生充実





# 労働・人権・人事のパフォーマンス

## 社員研修の充実

職場内で継続的にOJTを実施しています。その他、資格取得講習、メーカー主催の商品講習、営業スキル講習などの社外研修への派遣を積極的に推奨しています。さらに動画授業を利用した社員研修への取り組みも行っています。

オンライン教育専門会社の動画サービスを

利用し、ビジネススキルやマネジメント等の幅広い分野の授業を自由に受講できる環境を整備しています。

また都度、検討会を開催し同階層の社員と意見交換する場を設けることで、知識の定着と社内コミュニケーションの強化を図っています。

## 資格取得を奨励

従業員が業務に関係する資格を積極的に取得することを奨励し、社員の知識、技術、技能の水準向上を図るため、資格取得者に報奨

金を支給しています。対象資格を一部追加し、2023年9月期は20名、13.0%の社員に報奨金を支給しました。

## 職場環境改善の取り組み

男性の育児休業取得を促進しています。男性も育児休業を取得できる職場環境づくりとして、子供が生まれる男性社員の同僚全員に向けて制度の説明をし、助け合う雰囲気、取得しやすい雰囲気づくりに努めています。2023年9月期も男性の育児休業取得率100%を維持しています。たとえ短期間の休業であっても、育児をより積極的にすることにつながっています。今後も100%取得と「ともに育児をして当たり前」の気運を高めることを目指します。

申請書とパソコンON・OFF時間を比較し、差異があれば本人に事情を確認しています。適正な労働時間、適正な賃金支払いのため取り組んでいきます。

2021年9月期と2023年9月期の時間外労働時間  
(月平均)



男性社員 育児休暇取得率  
[2023年9月期]

**100%**

2023年2月 早期帰宅やサービス残業の撤廃を推進するため、労働時間の適正管理について通達を出し、時間外勤務のルールや申請手順について指導を行いました。提出された

数年前より人事異動希望の聴取を開始しました。上司を通さず、本人が会社側へ直接希望できるもので、年一回実施しています。事業のタイミングを考慮し、できるだけ早く、本人の意向に沿えるように検討しています。挑戦する気持ちを優先し、継続していきたい活動になっています。



# 労働・人権・人事のパフォーマンス

## 内部通報制度（社内・社外）

法令違反、社内ルール違反、ハラスメントを防止するため、社内通報窓口を再周知し、新しく社外通報窓口（NEC VALWAY）を利用することになりました。説明会開催やポスター掲示により周知を行っています。



相談件数  
社内 **0**件  
社外 **0**件

## 有給休暇消化日数

平均有休付与日数は17.7日、平均有休取得日数は10.8日、平均取得率は61.0%でした。

在宅勤務の影響もあり、コロナ禍では10日未満に落ち込んでいた有休消化日数は、コロナ前の水準以上に戻りました。

さらに有休申請しやすい環境を整えることを目指しています。



平均有給休暇取得率  
[2023年9月期]  
約**61%**  
平均取得日数11日



# 倫理的パフォーマンス

コンプライアンスに対する従業員の意識浸透をはかるため、定期教育、新入社員研修を実施しています。

## コンプライアンス活動・教育

### 工事執行規程の制定

当社は物品の販売だけでなく、建設業工事も請け負っています。不適正な施工があった場合、完全に修復できないことや天候条件によっても現場の対応が変わることがあり、工事は責任が重く、難しい仕事です。特に、元請事業者となった場合、建設業法の遵守だけでなく、工事品質や安全確保等の現場の環境整備と責任がより重くなります。法の理解や工事手順、記録文書を講義を通じて学ぶことで実践に活かします。具体的事例を織り交ぜて実施しています。

また工事現場においては、施工管理者である技術者の配置が必要なため、一定の実務経験者には国家資格取得を積極的に進めています。

2023年6月には工事執行規程を制定し、禁止事項（懲戒処分）、注意事項を明確化しました。建設業法や労働安全衛生法を遵守し、労働災害を防止し、工事品質を維持していきます。

2023年9月期



### アスベスト対応

解体・改修を含む工事に対しては、2021年4月から工事開始前の石綿の有無調査が義務化されました。さらに、2023年10月からは厚生労働大臣が定める講習修了者に行わせることが義務化されたことから、営業所を代表して4名が受講し、事前調査の方法や調査結果の記録と報告について学びを進めています。講習受講者によるワーキングチームを結成も予定しており、実践しながら情報を共有化し、知識を深めていきます。ガス機器法定作業により電動工具を使用した作業が必要なことから、石綿作業主任者や石綿取扱作業従事者の資格取得者を増やしていきます。

2024年9月期目標

	石綿作業作業主任者資格	2名
	石綿取扱作業従事者資格	10名
	一般建築物石綿含有建材調査者	5名

### 新入社員研修

新入社員、中途採用社員に対し、コンプライアンス教育、建設業法・工事勉強会を実施しています。特に工事については注意点、失敗談を重点的に説明し、工事の難しさや怖さ、潜む危険について理解を深めています。この研修を通じ、お客様から依頼があっても、当社で請け負える工事、請け負えない工事があることを理解させています。

新入社員・中途採用社員研修



# 倫理的パフォーマンス

## テールゲートリフター講習

2024年2月より、業務でテールゲートリフターを使った荷物の積み下ろしを行う場合は、特別教育の実施が義務化されます。テールゲートリフターとは、トラックで運搬した貨物の積み下ろしを行うための装置です。労働災害が多発していることから労働安全衛生規則が一部改正され、当社においても該当者全員に対し講習会を開催しました。



## 事業計画書（BCP）の制定

近年、大雨による水害が発生しています。本社ビルの地震・水害時の緊急時対応についてBCPを制定しました。対策チームの担当区分、目標時間、ハザードマップによる災害リスク確認、取引先への連絡方法、安否確認手順を明確化しました。2024年9月期までにBCP訓練を実施します。

さらに、ITシステムに特化したBCPを制定しました。災害やサイバー攻撃などによってITシステムが停止した場合の対応について検討会を行い、大きな被害損失を回避するため、手順をまとめました。ハード面の整備を継続し、ソフト面についても定期的に訓練を実施していきます。



地震・水害時



## コンプライアンス教育の実施

コンプライアンス意識の維持・向上のため、2023年6月から7月にかけて、全社員が対象のCSRと情報セキュリティをテーマとした4回シリーズのWeb講座を受講しています。

受講後は理解度テストを実施し、おさらいしました。

コンプライアンス・情報セキュリティ教育



## 標的型攻撃訓練

情報セキュリティ教育の効果を検証し、さらなる意識の向上を図るため、社員100名を対象に標的型攻撃訓練を実施しました。発信者を総務部長、件名を「標的型攻撃メールの発生についての注意喚起」に設定し、怪しいURLを添付したメールを一斉に送信するものです。100名中8名がリンク先を開くという結果となり、該当者には情報セキュリティ再講習を実施しました。今後も定期的に訓練を実施してきます。



# リスクマネジメント

当社において想定されるリスクを想定し、影響度や発生度を考慮して、対策を実施していきます。

## リスク分析結果

リスク名	リスク概要	リスク対策
脱炭素化推進による営業機会の減少	生産部品の変更により、材料・資材の販売が縮小し、業績が悪化する	中長期経営計画を策定し、他業界へのアプローチ、新商材の開発に取り組む
温室効果ガスの排出削減目標の未達	取り組みの遅れにより、当社の得意先からの評判が低下し、業績が悪化する	検討チームを設置し、施策推進と進捗管理を行っていく
希少資源の調達危機	世界経済の変化、重大事故の発生により、調達が困難になり業績が悪化する	代替品の検討
サイバー攻撃	業務が長期停止するだけでなく、機密情報が漏洩し、信用を失う	情報セキュリティ教育の実施、対策の検討、サイバー保険への加入
災害（地震）	巨大地震により、事務所が倒壊し、工場の設備が損傷し、事業活動が停止する	耐震構造の確認、事務所の建替え。事業継続の対策を検討
災害（洪水）	集中豪雨により、事務所が浸水し、車や電気設備が多数故障し、事業活動が停止する	事務所の建替え。事業継続の対策を検討
法令違反	営業停止等の行政処分を受け、社会から信用を失う	法規制改正の監視、社員の知識向上のための教育訓練を実施する

- 2024年9月期中に第三者によるリスク評価を実施し対策の検討を開始します。事業継続計画書に基づき訓練します。順次各拠点も計画書を策定していく予定です。安否確認システムを導入し、社員の安全確保に努めます。
- 法令違反を防止するため、各種規程の見直し、契約書管理規程や工事執行規程を新たに策定してガバナンスを強化しました。
- サイバーリスク簡易診断を実施し、適正なサイバー保険に加入しました。



## 地域貢献への取り組み

**水素供給事業者としてのミッション。**

カーボンニュートラル支援の一環として、一般社団法人富山水素エネルギー促進協議会を通じて地域へ水素エネルギーの普及啓発活動を行っています。

### 一般社団法人富山水素エネルギー促進協議会の取り組み

#### 水素ステーションの運営

富山市内に2ヶ所、水素ステーションを設置し、運営しております。日々の業務にあたる充填サービススタッフは、当社OBに活躍いただいています。

また、水素ステーションの見学ご希望の方々への対応も随時受け入れております。多数の企業・自治体様、国内外問わず、年間198人、27団体にお越しいただきました。



#### 環境教室、イベントの開催・出展

地域住民の方々へ水素エネルギーを身近に感じていただく機会として、富山市様のイベントなどの機会を得て、親子向けの環境教室を実施しました。

また、会員企業様と連携し、FCVからの電源供給パフォーマンスや、実証走行中の水素エンジントラックのイベントブース出展なども行いました。



#### 産学官連携協定

燃料水素・アンモニアの導入に向けて、流通に必要なサプライチェーン構築を目的とし、富山県、国立大学法人富山大学、公立大学法人富山県立大学と当協会は、「富山県における燃料水素・アンモニアサプライチェーン構築に向けた連携協力協定」を締結しました。



#### 委託事業

国や地方自治体から、水素の利活用促進に向けた事業を受託して、活動の幅を広げています。

環境省「水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」の実証車両が完成し、出発式を開催しました。

同時にセミナーやカーボンニュートラル車両の展示も実施しました。



#### <その他事業>

- ・富山県グリーン成長戦略分野研究開発支援事業「廃棄マグネシウム塩水処理による水素製造実証および水素利活用法の検討」
- ・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「水素社会構築技術開発事業/地域水素利活用技術開発/水素製造・利活用ポテンシャル調査」



## 地域貢献への取り組み

### 社外保安講習

高圧ガスをご使用いただいているお客様、また高圧ガス関連団体からの依頼に基づき高圧ガス保安講習を開催しています。

2023年9月期はオンライン講習を含め、10回開催し合計258名に受講いただきました。

今後もお客様のニーズを取り入れた内容での保安講習を企画していきます。



### 防災訓練

毎年10月に富山県主催の高圧ガス移動防災訓練に参加しています。同訓練は県内の高圧ガス関連事業所だけでなく、近隣住民の方も見学に参加しています。2023年9月期は砺波市で水素ガスの物性実験をおこない、水素ガスの特性の説明や消火実験を実演しました。

訓練動画はYouTubeで配信しています。



### スポーツ・音楽支援活動

当社は、スポーツ・音楽支援を通じて、地域を盛り上げるため支援しています。スポーツ・音楽文化の活性化は持続可能な社会への実現に結びつくものと考えています。

#### スポーツ支援

中山楓奈選手・富山グラウジーズ・カターレ富山・富山サンダーバズ・KUROBEアクアフェアリーズ・常願寺川公園スポーツクラブ他



#### 音楽支援

とやま音楽文化協会、富山県社会人吹奏楽フェスティバル、クラシックの雫、富山県合唱連盟、富山南高校吹奏楽定期演奏会

#### 映画支援

作品「祝日」、作品「藤井道人監督作品」



## 地域貢献への取り組み

### 拠点の地域貢献活動

高岡の冬の一大イベント「日本海高岡なべ祭り」に、高岡支店が毎年参加し、LPガスの供給をはじめ、運営にも協力させていただいています。地場産業である銅器・アルミ産業の技術を生かして造られた直径2メートル以上の大鍋で、冬の日本海の魚を使った鍋汁を提供するもので、たくさんの来場客で盛り上がっています。より多くの皆様にガスの良さを伝えられるよう、これからも参加していきます。



## List of offices 事業所一覧

事業所		
本社	富山県富山市本町11番5号	☎電話番号
総務部		076-460-9897
経理部		076-441-7836
情報システム		076-441-7758
産業資材事業部		076-441-7710
環境エネルギー部		076-456-2708
総合ガスセンター	富山県富山市荒川1丁目1番88号	
産業ガス事業部		076-441-7707
LPガス事業部		076-441-7708
医療事業部・居宅介護支援事業所		076-443-0516
高岡支店	富山県高岡市向野町3丁目43番7号	0766-21-4171
魚津支店	富山県魚津市川縁1289-38	0765-24-0085
東京支店・化成品事業部	東京都中央区日本橋室町4-3-16 柳屋太洋ビルディング8階	03-6202-9300
大阪営業所	大阪府大阪市中央区本町4-5-18 本町Y Sビル7階	06-6210-2754
上越営業所	新潟県上越市大字松村新田105-5	025-544-4133
関連会社		
北酸高圧瓦斯株式会社		
本社・高岡工場	富山県高岡市開発町740	0766-22-2161
富山工場	富山県富山市荒川1丁目1番88号	076-431-1301
北酸物流株式会社	富山県富山市上富居1丁目3番69号	076-433-1200
山口郵便通送株式会社	富山県富山市池多1602番6	076-482-4111
株式会社北酸リプロ	富山県高岡市中曾根518番1	0766-82-5504
BANホールディングス株式会社	富山県富山市本町11番5号 (北酸株式会社 内)	076-460-9897
富山映画興業株式会社	富山県富山市本町11番5号 (北酸株式会社 内)	076-431-3262
ラ・ロカンダ・デル・ピットーレ 環水公園	富山県富山市湊入船町3-3	076-482-3308

